

登録コード	E2413900	開講年度	2026				
授業科目	合唱法				担当教員	田島 達也	
英文授業名	Chorus				副担当		
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・5時限	対象学生	2年生、3年生、4年生
講義室	教育図書2階講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	音楽家教員に求められる資質の1つである合唱指導法の基礎について、その意義が理解できるようになること。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	合唱指導を行う上での様々な観点を学んだり、合唱指揮を行うための技能を学ぶことで、基礎的な合唱指導ができるようになること。	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	受講生で合唱を行うとともに、合唱指導の内容や方法について学ぶ。合唱指導には、発声や呼吸に関する観点、表現に関する観点、ソルフェージュに関する観点等、様々な指導観点が考えられる。それらについて理解するとともに、合唱指揮法の技術についても練習し、実際に合唱指導を行ってもらう。						
(5)授業計画	第1回：授業の説明 第2回：パート分け 第3回：指導観点について 第4回：教材研究 第5回：合唱指揮法 第6回：歌詞の解釈と楽曲アナリーゼ 第7回：実際の合唱指導（ソルフェージュの観点を中心に①） 第8回：実際の合唱指導（ソルフェージュの観点を中心に②） 第9回：実際の合唱指導（表現の工夫を中心に①） 第10回：実際の合唱指導（表現の工夫を中心に②） 第11回：実際の合唱指導（発声や呼吸の観点を中心に①） 第12回：実際の合唱指導（発声や呼吸の観点を中心に②） 第13回：実際の合唱指導（全てを統合した指導①） 第14回：実際の合唱指導（全てを統合した指導②）、授業アンケート 定期試験 教育実習による授業欠席分は、別日で補講を行う						
(6)成績評価の方法	日常の取り組み（30％）、実際の合唱指導（70％）の合計で評価する。 「日常の取り組み」は、他の受講生が合唱指導をしているときの取り組み態度を評価する。「実際の合唱指導」は、合唱指導の内容について、教材研究の的確さや、それを伝える技術等を評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	指導観点や指揮法についておおそ理解し、演奏水準を上げていく意思が感じられる指導であれば「水準にある」、いくつかの指導観点について実際に演奏水準が高まる指導ができれば「やや上にある」、より深い教材研究により、複合的な観点指導で演奏水準の大きな高まりが感じられれば「かなり上にある」、指導内容や方法について欠点が少なく、指揮法の技術も優れていれば「卓越している」						
(8)事前事後学習の内容	教材研究の時間は授業でも確保するが、授業以外でも毎回行うこと。また、伴奏は、2名程度の受講生に担当してもらう予定だが、それ以外の受講生も弾けるようにすることが望ましい。授業ではそのための時間は取れないため、授業以外で練習をすること。						
(9)履修上の注意	教育実習参加による授業欠席分の補講は、別日に実施します。 のどや体調が悪い場合は、無理に出席する必要はありません。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	随時受け付けます。ttajima@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	なし						
【参考文献】	なし						